

2025年(令和7年)4月1日(火曜日)

富士ニュース

高校会議所が販売体験

ジェラート店で独自商品PR

富士宮高校会議所は、このほど、中原町のジェラート店「Shiro DRIVE-IN」と地域活性化コラボイベントを開催した。メンバーらが店頭で市内の特産品をPRする独自商品を販売し、好評を

呼んだ。

目玉商品は和紅茶を活用した特別なジェラート。和紅茶は高校会議所が茶農家の協力により、オリジナル堆肥「マスマス元肥(げんび)」を使って栽培した茶葉を手摘み・手もみで仕上げ、同店がジェラートにした。そのほか、「にじますのふりかけ、にじますのお茶漬け」「にここ富士山伍バッジ、マグネット、

キーホルダー」「マスマス元肥」などを用意し、接客の基本や販売の流れなどを学びながらの体験となった。メンバーからは「びっくりなしの来客で、販売体験に楽しく真剣に取り組むことができた」「相手のことをよく考えた接客が勉強になった」「間違えても親切に教えてくれて、すぐくやりやすかった」「地域とのつながりを深める大切な経験となった」「経験を今後の活動に生かしたい」などの声が聞かれた。



共同で開発した和紅茶のジェラートをPR(上) 店内で販売の流れを体験(下) 提供写真